

国際シンポジウム

ハイブリッド
開催

<参加無料>

中所得国の罠と アジアにおける 脱グローバル化時代 の発展戦略

現在、中所得段階にある多くの国々が、今後20～30年以内に高所得国になるという目標を掲げています。しかしながら、1990年代以降、それを達成した中所得国はわずかにとどまっており、残りの多くは「中所得国の罠」に陥っています。今日の環境においては、中所得国は高い債務と人口の高齢化、先進国における保護主義の高まりによって、高所得国への移行はますます困難になるものと思われます。

本シンポジウムでは、「世界開発報告書2024」の分析内容をアジア各国の現実に照らし合わせ、成長段階の異なる国にとっての実践的な政策ツールについて議論を行います。また、グローバルな貿易の動向、金融の脆弱性、地政学的な緊張など、変容する経済の状況や、各国が長期的な開発目標の達成を目指しつつ今日的課題をいかに克服できるかについて議論します。

会場：世界銀行東京開発ラーニングセンター（東京都千代田区内幸町2-2-2富国生命ビル14階）
およびオンライン（Webexウェビナー）

使用言語：日本語、英語（日英同時通訳）

2025年
12月15日(月)
9:00-12:00

● 基調講演

「中所得国の罠」
インダーミット・ギル
世界銀行グループチーフエコノミスト
兼上級副総裁（開発経済担当）

お申し込み締切

12月11日（木）13:00

詳細お申し込み

アジア経済研究所ウェブサイト

<https://www.ide.go.jp/Japanese/Event/Sympo/251215.html>

